

1. 基本理念

いきものたちを育み恵みを授ける
自然と共に生きるあおもり

青森県は、県土の中央に陸奥湾を抱き、三方を太平洋、日本海、津軽海峡に囲まれ、八甲田山や白神山地にはブナの天然林が、津軽・下北の両半島にはヒバの天然林が広がっています。豊かな森から流れ出る清らかな水は、田畑を潤し、海へと注ぎ、様々な生き物たちの命を育んでいます。

三内丸山遺跡に代表される縄文の時代から、自然環境に適度な働きかけを行い、豊かな海の幸、森の幸を上手に利用し、自然とともに生きてきました。

しかし、物質的な豊かさや経済効率の追求のあまり、自然環境への負荷が増し、自然と共生してきた暮らしとともに生き物たちの生存基盤が急速に失われてきています。

また、2011年3月に発生した東日本大震災は、私たちの生活やそれを支える自然環境に甚大な被害を与え、豊かな恵みをもたらす自然は、時として大きな脅威となって災害をもたらすことをあらためて意識させられる機会となりました。

そのような中で私たちは、今一度歩みを止めて、これからの開発については将来を見据えた慎重な判断を行い、自然に対し畏敬の念を持ち、先人たちが歩んできた自然との営みの中で日々の生活を見つめ直し、本県の豊かな生物多様性に裏打ちされた暮らしを再認識するとともに、いにしえから自然と共生してきた地域として、様々な生き物たちが織り成す命の輪を守り、自然の恵みを授かりものと感謝し、真の豊かさを実感できる、「いきものたちを育み恵みを授ける自然と共に生きるあおもり」を基本理念とした、あおもり型の自然共生社会の構築を目指します。



2. 目標(2050年)

「いきものたちを育み恵みを授ける自然と共に生きるあおもり」を基本理念とした、あおもり型の自然共生社会を構築していくためのアプローチとして、知る、活かす、守るの3本の柱に沿って、以下のとおり2050年目標を設定します。

知る

人と自然のつながりを理解し
次代に伝えるあおもり

活かす

生物多様性がもたらす恵みを
活かすあおもり

守る

いきものたちの命を守り
育てるあおもり

知る

2050年目標 人と自然のつながりを理解し次代に伝えるあおもり

地域の自然やそこに生息・生育する生き物を知ることは、自分たちの生活や社会のことを理解することともつながっています。

地域の特徴的な食材やその調理方法、暮らしの道具などへの生物資源の様々な利用、津軽のお山参詣や虫送り、下北の餅つき踊り、南部のえんぶり等の伝統行事など、多様な風土に育まれた地域の様々な暮らし方や文化は、地域の個性豊かな生物多様性からもたらされています。産業構造や生活様式の変化などにより、地域で育まれてきた知恵や技術に裏打ちされた暮らしが急速に衰退しています。地域の生物多様性を把握・継承し、地域の個性を次代に伝える社会を目指す必要があります。

活かす

2050年目標 生物多様性がもたらす恵みを活かすあおもり

青森県は、農林水産業をはじめ、建設業、製造業、観光業など、自然からもたらされる様々な恵みの活用により地域社会が成り立っています。これらの恵みを将来にわたって安定的に享受し、地域の暮らしを維持していくためには、生物多様性がもたらす恵みの価値を理解し、すべての産業活動において、自然資源を上手に活用しながら、持続可能な利用を推進する必要があります。また、世界的な食料や飼料、資材の流れ、地球規模の気候変動など、青森県内にとどまらず、広い視野を持って日々の暮らし方を見直す必要があります。

守る

2050年目標 いきものたちの命を守り育てるあおもり

青森県は、三方を海に囲まれるとともに、全国有数の内湾である陸奥湾と大小様々な湖沼や河川に恵まれ、白神山地や八甲田山をはじめとした豊かな森が広がり、その多様な風土とそこに住む人々の日々の暮らしにより育まれた豊かな生態系があります。しかし、経済の成長とともに、様々な生き物たちの生息・生育地である多様な生態系の破壊が進み、命のつながりが途切れることにより、私たちの暮らしへの影響も懸念されています。これからは、様々な生き物たちの営みを理解し尊重し、守り育てることで、将来の世代まで持続的に活用できる社会を目指す必要があります。

下図は、3つの目標である、「知る」、「活かす」、「守る」は一体のものであり、どれが欠けても生物多様性は保たれないことを表しています。

- 知ることで、活かすこと守ることができる。
- 活かすことで、知ることや守ることの大切さが理解できる。
- 守ることで、知ることを活かすことができる。

また、この3つの目標は、生き物に関心の高い人や、行政といった特定の立場の人だけが取り組めばよいということではありません。生物多様性は、すべての県民、あらゆる立場の組織、団体、事業者等に関わることで、**「みんなで取り組む」**姿勢が何よりも大切です。

このようにすべての目標に向かって一体的に取り組むことで基本理念である**「いきものたちを育み恵みを授ける自然と共に生きるあおもり」**が実現すると考えます。

